

## 全国大学書写書道教育学会・第28回(群馬)大会シンポジウム

### メインテーマ「これからの書写書道教育をめざすためにⅡ」

日時 平成25年10月6日(日) 14:10～16:20

会場 群馬大学教育学部 C204 教室

(〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町 4-2 Tel027-220-7235 教育学部・永由)

【シンポジウムは入場無料・事前申込不要】

昨年度の京都大会においては、メインテーマを「これからの書写書道教育をめざすために」とし、本学会で活躍しておられる先生方に世話人になっていただき、書写書道教育の在り方や今後についていろいろな角度から語って頂き、参加した会員の皆さんとともに意見交換、それぞれのテーマについてこれからの研究の方向性や在り方を考えて頂きました。本年度の群馬大会では、このラウンドテーブルの成果をさらに生かし、これら貴重な生の意見を学会の会員全員に周知させ学会の活性化につなげる一環として、まず、昨年4つのテーブルから1名ずつの世話人の方々にご登壇頂き、いわゆる分科会報告のような形で、改めてその時出た意見などを口頭で報告発表して頂くことにいたしました。その後、シンポジウム形式で、参加いただいた会員の皆さんとともに意見交換をして、それぞれのテーマについてこれからの研究の方向性や在り方を考え、模索していけたらと考えます。パネラーの先生方に今後の課題になることは何かなどをまとめていただき、ここでパネラーから見て課題研究にふさわしいと思われるテーマを具体的にいくつか示して頂く予定です。

全国大学書写書道教育学会・企画広報局

#### 第1部 京都大会ラウンドテーブル報告

#### 第2部 今後の書写書道教育研究のテーマについて考える。

#### パネラー

・ 齋木久美 茨城大学准教授 書写・書道教育の実践論 (テーブル①担当)

●小・中・高のなかでどのように指導実践をしていったらよいか。

・ 樋口咲子 千葉大学准教授 書写・書道教育の内容論 (テーブル②担当)

●書写書道教育の学習・指導内容について考えていかなければならないこと。

・ 杉崎哲子 静岡大学准教授 書写・書道の学習者論 (テーブル③担当)

●学習者の立場から、考えていかなければならないことは何か。

・ 松本仁志 広島大学准教授 書写から書道へのつながりについて (テーブル④担当)

●書写と書道との関連性はどこにあるか。

コーディネーター 廣瀬裕之 本学会常任理事・武蔵野大学教授

主催:全国大学書写書道教育学会 後援:群馬県教育委員会・前橋市教育委員会